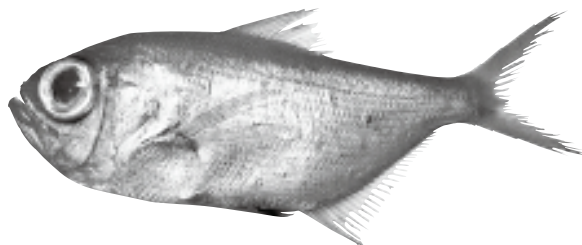


睦月 & 如月 旬の食材

金目鯛



【栄養と働き】

金目鯛は水深100～800メートルに生息する深海魚で、大きな目が海中で金色に輝くことからこの名前が付けられました。名前に「鯛」と付きますが、実はマダイやクロダイなどが属するタイ科とは別の種類の魚です。

栄養面では他の白身魚に比べてタンパク質や脂質を豊富に含んでいます。また、カリウム、マグネシウム、リン、亜鉛、銅といったミネラル類も豊富です。カリウムは摂りすぎた塩分の排泄を促し、血圧上昇を抑制します。マグネシウムやカルシウムは神経伝達の働きを活発にし、イライラやストレスを予防します。リンは細胞の成長や修復を助け、骨や味覚異常や肌トラブルの予防に役立ちます。

【主な働き】

血圧上昇を抑制………高血圧予防
赤血球の生成………貧血予防
神経伝達物質の生成………ストレス予防

【調理の秘訣】

体の赤色が鮮やかで、ウロコや目が金色に光っているものが、鮮度が高い印です。

金目鯛の身は柔らかく味も淡泊なので、蒸し料理の他に塩焼き、煮付け、フライ、味噌汁、鍋など幅広い料理に合います。

また、味噌漬けや粕漬けにしても美味しくいただけます。

資料提供／財団法人 愛知健康増進財団

■人間ドックのご案内

当法人会では会員企業向けに健康診断費用の一部助成が受けられる福利厚生事業を行っています。補助金は1名につき5,000円（年間一社3名まで）です。

受診の申し込みは、申込書（法人会ホームページ→福利厚生）に必要事項を記入してFAXで送信ください。

http://www.meinaka-hojinkai.or.jp FAX 052-242-9429

ものづくり愛知の至宝

松坂屋コレクション



【解説】

葵紋に蝶模様胴服

桃山時代 練緯／絞り染

この胴服は武将が衣服や甲冑の上から羽織る、丈の短い袖付きの上着で、徳川家康着用と伝えられています。

練緯という、経糸に生糸、緯糸に練り糸を用いた平織りの絹織物で、背と両袖、両胸前の五カ所に輪郭が萌黄色、葉が浅葱色の三葉葵紋が、袖と背面・前面に紫と萌黄・浅葱で蝶の飛び姿が、いわゆる辻が花染と呼ばれる絞り染であらわされています。

写真は裾が斜めに切断されているように見えますが、当初は紫や黒などの色に染め分けてあり、媒染剤により劣化したと推測されます。

次回の春号は、五月五日の端午の節句を祝う「放れ馬模様振袖」です。

徳川家康着用(伝) 葵紋に蝶模様胴服

約一万点に及ぶ「松坂屋コレクション」は、呉服デザインのために収集された経緯から、松坂屋では最近までほぼ社外秘の扱いとなっていました。平成20年（2008）に開催した「小袖 江戸のオートクチュール」をきっかけに一般公開されました。

J.フロント リテイリング史料館は、染織参考館の閉鎖で京都から名古屋に移管されたのを機に、その一部を名古屋市博物館と共同でコレクションの調査・研究を進め、日本の染織文化の発展に貢献することを理念に設立しました。

松坂屋美術館に隣接する松坂屋史料室では、①呉服デザイン・意匠・史料②大丸松坂屋百貨店の創業・歴史に関する史料など、テーマを設定した展示を開催しています。

季節を楽しむ和菓子の魅力



熱田参りに「栗入きよめ餅」

栗の実と北海道小豆を丁寧に炊きあげたこしあんを、つるんとやわらかい羽二重餅で包んだ人気の銘菓です。純白に浮き上がる「きよめ」の焼き印は伝統の証です。

2個 390円 10個 1,800円



藤団子

緑、黄、紅、白、紫
彩り豊かな五色の環を麻ひもで結わえ藤の花房に見立てています。口に含むほど、ほのかに広がる甘み。上品な味わいの干菓子です。

毎月15日販売 5房入 1,180円

株式会社 きよめ餅総本家

本店／名古屋市熱田区神宮三丁目7番21号

Phone／052-681-6161

営業時間／午前8時30分～午後6時30分



葵紋に蝶模様胸服

提供／一般財団法人 J.フロント リテイリング史料館



松坂屋史料室展示の案内

松坂屋コレクション紹介「小袖の変遷 第7回」

開催中 ～平成27年2月24日(火)

第20回企画展「松坂屋名古屋店の歴史(呉服店時代)」

会期／平成27年2月28日(土)～5月26日(火)

みんなで、法人会の知名度を上げ、友人を増やそう!

法人会は、60年を超える歴史と日本最大(約85万社)の経営者の団体です。

法人会は、税の活動を中心に、国や地域への貢献を目指しています。

法人会は、企業の発展を支援するための活動を行っています。

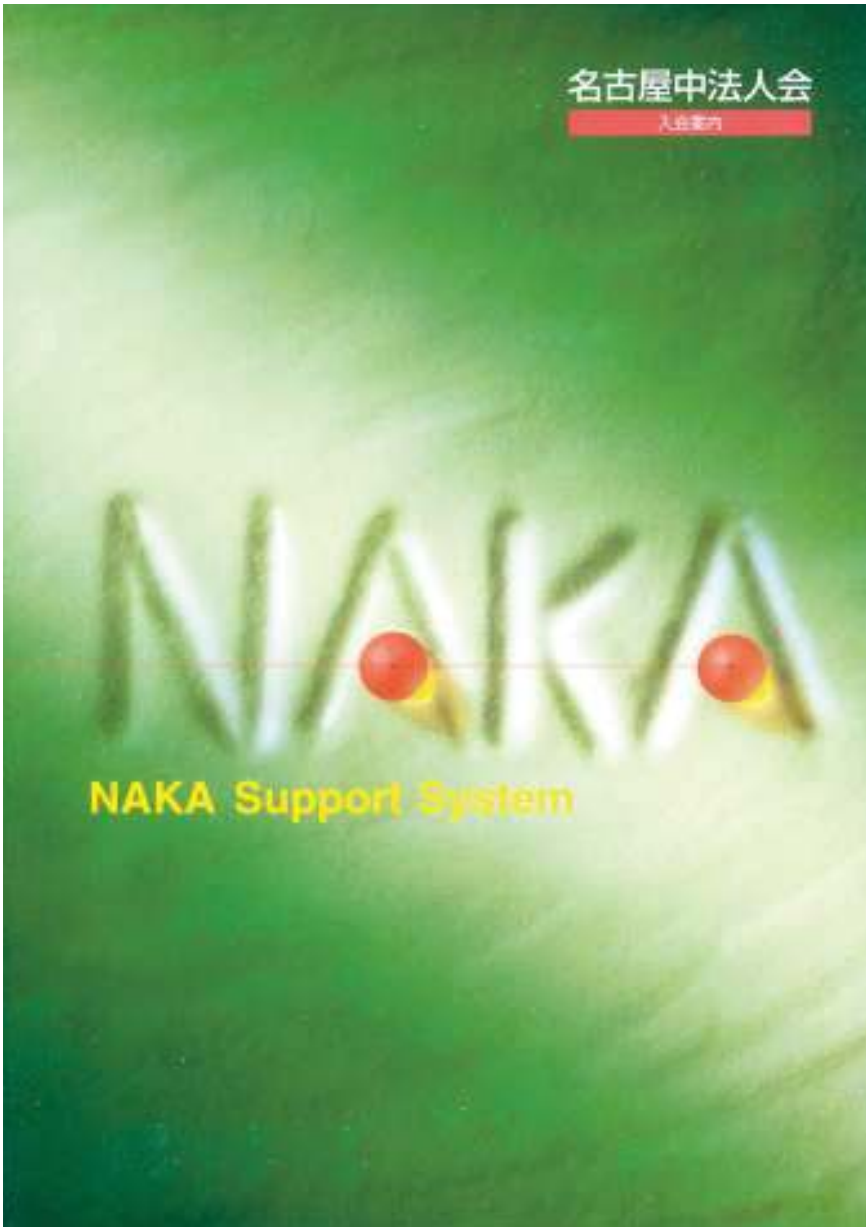


BE A FRIEND

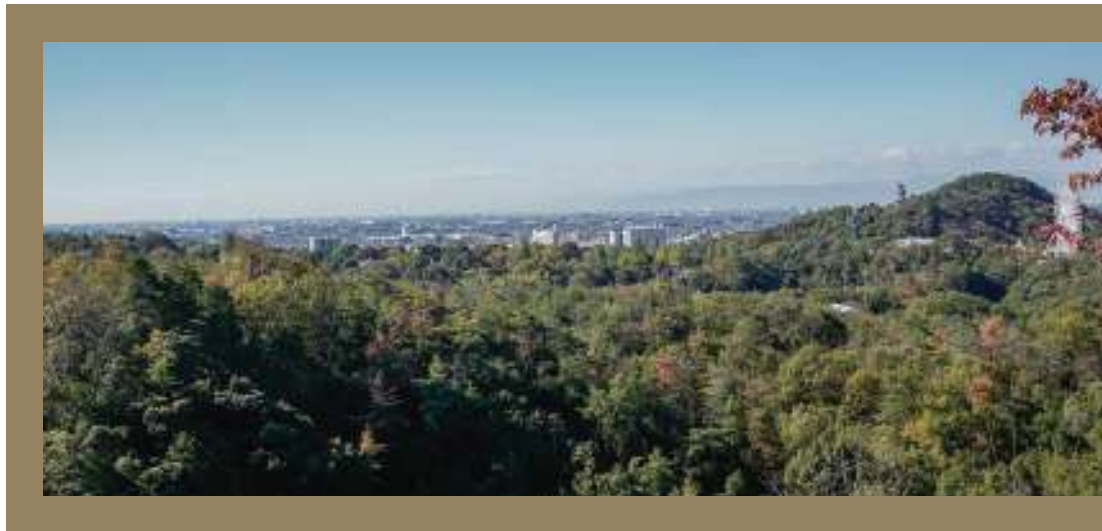
知人でなく、友人を作ろう！

法人会は幅広く活動しています。

- ◎ 税のオピニオンリーダーとしての税制に関する提言活動。
 - ◎ 税知識が身につく研修会や子どもたちへの租税教育活動。
 - ◎ さまざまな業種の経営者と出会え、ビジネスチャンスにつながる交流会。
 - ◎ 環境や福祉など、地域に密着した社会貢献活動。
 - ◎ 経営の知識が身につく研修会、著名講師による講演会。
 - ◎ 企業のリスクをカバーする法人会独自の福利厚生制度の普及。
- これらのほかに、法人会は様々な活動で企業を支援し、国と地域の発展に努めています。
- ぜひ、みなさんの仲間を誘って、
税の知識を活かし、一歩先の経営を目指しましょう！



尾張最古刹 やすらぎ



の郷里 「犬山寂光院」



春先の桜や山桜、山つつじ、夏の青もみじと新緑、秋の紅葉、そして冬の凜として靈氣ただよう犬山寂光院は、古来より四季折々の美しさで絶賛され、特に秋の紅葉は「東の香嵐渓、西の寂光院」と言われ、「もみじでら」として親しまれています。

寂光院のある継鹿尾山は、かつては「靈山」と呼ばれてきました。

尾張最古刹・千手観音がいます靈氣満つる山寺であることは、今も昔も変わりません。昨今は、それを「パワースポット」と呼ぶようになりました。

呼び方は変わっても、凛とした靈氣を実感できるのは、寂光院が尾張最古刹といわれるように、1350年余の長い歴史と、飛騨木曾川国定公園・名勝木曾川にある風光明媚な山寺ならでのことでしょう。

寺号：継鹿尾山 八葉蓮台寺 寂光院

宗派：真言宗智山派（総本山智積院・京都東山七条）
開山：白雉5年（654）

寺域：33万㎡（10万坪）全山飛騨木曾川国定公園指定
参道：山麓より山頂迄1,350m 全参道東海道自然歩道指定
交通：電車名鉄犬山線「犬山遊園」駅下車 タクシー5分 徒歩20分

命より大切なものがある

継鹿尾山 つがおきん

八葉蓮台寺 はちようれんたいじ

寂光院 じやくこういん

山主

松平 實胤氏 まつだいら じついん



生きる勇気が湧くようなお寺に

——明けましておめでとうございます。新年のご抱負をお聞かせください。

寂光院は、飛騨木曾川国定公園、名勝木曾川にある尾張最古刹の千手観音霊場で、古来より“やすらぎの郷里”として多くの人々の心の拠り所となり、今に至っています。

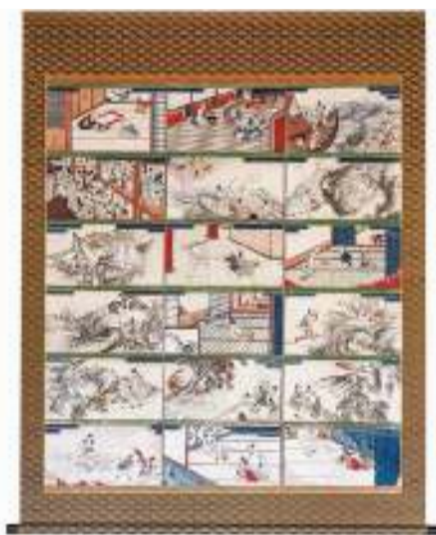
近年、地球の温暖化により自然環境が悪化し、また核家族化による家庭環境も変わり、ハラスメント、いじめ、詐欺など社会環境も悪化して、未来に希望が持てないような極めて閉塞感のある時代になりました。

こんな時代ですから、寂光院の「本物の自然に出会う」「古刹の仏さまに出会う」、名実ともに「やすらぎの郷里」としての機能をしっかりと整え、お訪ねいただく皆様から、「前向きに生きる勇気が湧いた」と満ち足りて帰って戴きたいと思っています。また、今年は、少しでも住みやすく、明るい年になってほしいと願っています。

——寂光院の新年の様子と年中行事をお聞かせください。

新年は除夜の鐘で明けます。山上本堂の脇にある鐘撞堂で、尾張から美濃まで見はるかす百万ドルの夜景を眺めながら、凜とした寒さの中、一年を振り返り、また新たな一年に希望を託して除夜の鐘を撞きます。元朝からは大護摩祈禱を厳修して、初詣での皆様方をお迎えいたします。

とにかく寂光院の初詣は風情、趣、ご利益ともに値千金、一年のスタートにふさわしいお参りです。そして1月18日は「初観音大祭」です。3月5日はご本尊の体内仏の千手観音像を各自のお手に戴く珍しい行事「おいいただき」、8月9日は千手観音最多功德日「九万九千日大祭」、これで三大



取材日時／平成26年11月6日(木) 14:00~15:00

取材場所／犬山 寂光院 聖徳殿

ききて／森田文二・中山智雄・岩田加津子・清水正彌



祭です。

——寂光院の由来を教えてください。

開山は654(白雉5)年で今年1361年目を迎えます。創建時は白鳥山神宮寺という名称でしたが、奈良時代に継鹿尾山八葉蓮台寺という名前に改まったと言われています。

白鳥山という山号の如く、熱田神宮さまとのお縁が深いお寺です。当山に伝わる『継鹿尾山縁起』に最初に登場するのは日本武尊の誕生です。村雲の剣(後の草薙の剣)で東征した後、伊吹山麓で大蛇の毒にあたり熱田の妃のもとに戻られますが、妃の手当もむなしく命を落とされます。日本武尊は白鳥となって伊勢を目指したという神話がありますが、それが後の継鹿尾山の由来に大きく関わります。

当山のこのあたりを獵場としていた寺沢増彦という獵師が、あるとき大きな鹿が岩の上に寝そべっているのを見て弓を振り絞りましたが、あまりにも神々しくて射損じます。翌日も、同じ場所に寝そべっていたので、今日こそはと思って矢を射ると、尾に当たりました。尾は天空高く舞い上がり、その尾から金色の一寸七分の観音さまが転がったのです。尾は降りてきて鹿に繋がり、鹿は何事もなかったように山の中に消えたという伝説があります。これが継鹿尾山の名の由来です。日本武尊とその千手観音さまとの由緒は長く続きますので省きますが、当山のご本尊千手観音さまは日本武尊の神魂の霊像として今に伝承されています。

当山のご詠歌は「なるみがた 鹿の継鹿尾に へだておき いざやなびかん くさなぎのみや」です。草薙の宮の熱田さまは昔は海辺で、そのあたりを“鳴海瀉”と言っていたのでしょ。へだておきは「目指して」という意味で、いつも日本武尊が継鹿尾山に心を寄せているということです。

日本武尊とご本尊千手観音さまとのお縁はあくまでも伝承ですが、継鹿尾山が具体的に文献に登場するのは14世紀以後の事です。継鹿尾山縁起にも登場するのですが、当山には「一切経(すべての経典)」が完備されているということでした。全国の学僧が経典を拝読したい、写経したいと訪ねてきます。それで当山は全国区になりました。今なら国会図書館の役割を果たしていたのです。そのような学僧方が故郷に帰り、継鹿尾山で勉強したということを文献に書き記しております。

当山で勉強された方に日峰禪師がおられます。後に古本山瑞泉寺を開かれ、更に臨済宗大本山妙心寺の中興開山とされる名僧です。そのような逸材が沢山巣立たれた華やかな時代もありましたが、栄枯盛衰は常で、次に歴史に登場するのは1565年(永禄8年)9月18日です。当山には織田信長公花押入りの判物が伝えられております。信長公が柴田勝家を伴って寂光院を訪ね、当山に黒印50石、山林15万坪を寄進したと書かれております。現在は10万坪程ですが、信長公由来の土地を伝承しているということです。明治維新で上地令にあいましたが、明治35年二代前の住職で名僧(菩提院結衆・大僧正)と言われ書家でもあった岩田大法(号・雲岳)和尚のときに払い下げを受け今に至っております。

——風光明媚な環境ですね。

道元禪師の名歌を私が勝手に拝借して「春は花 夏は緑 秋は紅葉 冬凜として霊気ただよ」と当山の風光を紹介しています。古来より四季折々の美は絶賛され、特に秋の紅葉は「東の香嵐渓、西の寂光院」と言われますが、春先の桜や山桜、山つつじ、青もみじ(新緑)もことのほか素晴らしく、木曾川の風景と相俟って見事です。



すべての人生が意味あるものに

——松平山主のお生まれとご出身地を教えてください。

生まれたのは中区錦2丁目です。まさに名古屋のど真ん中が生家です。袋町の「お聖天福生院」の二男で、今は兄が住職をしています。

——大学時代の思い出をお聞かせください。

大学は東京の大正大学です。大須観音の岡部さま、成田山萬福院の竹島さまは同窓です。3、4年の頃に仏教青年会という宗派を越えた勉強会がありまして、各宗派の皆様とお付き合いが増えました。将来の仏教をどうするのか、形骸化している仏教を本来の姿にしなければと、学生ですから、ずいぶん張り切ったものです。そのときの仲間が今各宗派のご重役になっております。

勉強は子供のころから好きでした。東京には東海中学・高校の仲間が大勢いて頼りになりましたが、大学生らしい遊びもせず、もっぱら下宿と大学の範囲しか出歩くことはありませんでした。

卒業のとき父の厳命で名古屋に戻りましたが、さらに勉強したいと名古屋大学大学院印度哲学科に入学しました。印度哲学の世界では音に聞く北川秀則という教授につきましましたが、とても厳しい先生で、私の人生の中で「一番よく勉強した」という思い出多き大学院生活でした。

——本をお読みになるのがお好きだとお聞きしました。

本が好きというよりは、探求心だけはあったのでしょうね。自分の気になるところだけ集中して拾い読みするという要領のいい学生でもありました。

——寂光院の山主になられたきっかけと、山主として40年、これまでの歳月をどのように感じられていらっしゃいますか。

いろいろなことがありました。当時はそう思えなかったことが、今ではすべてが「私が私に成る為の仏縁だった」と思えるようになりました。人生に無駄なことはありません

ん。すべて意味があるのですね。

大学院在学中に、犬山に静かなお寺があり、そこなら思う存分勉強ができると言われて当山に来ました。それがご縁で、ご住職が亡くなられた時になんと私が喪主を勤める羽目になり、その後山主となりました。しかし当山は昭和34年の伊勢湾台風のダメージから立ち直れなく、当時あちこちの建物の雨漏りが激しくて畳に草が生えているほどでした。絶望的な状況でしたが、父や兄に励まされ、少しずつ皆様のお力添えを戴き、お寺の復興整備に追われた40年でした。

環境は命より大切なもの

——ご著書・新聞・講演・テレビ・ラジオで、いろいろ提言されていらっしゃいます。一番大切にされていることをお聞かせください。

「大切なもの」と「大切なこと」があります。大切なものは命です。しかし自分の命が大切と思うあまりに利己的になってしまいがちです。

命より大切なものは環境です。福島原発事故によって、命は風前の灯になりました。人は誰でも環境(天地自然、天地の恵み、人、モノ、自分を支えて下さるすべての条件)に生かされて生きているのです。日本人が大切にしてきた「おかげさま」という言葉が失われて久しいです。もちろん大切なものは命です。同時に「命より大切なものがある」と知ることが「大切なこと」だと思います。

——NHK総合テレビ『うまいもの名鑑』にご出演されました。

NHKの「宗教の時間」に出させていただいたことがありました。東京のテレビ局での番組も経験しましたが、あるときNHKの『うまいもの名鑑』でお茶の名産地静岡の街を歩く企画の出演依頼が舞い込みました。お茶は中国から



お坊さんがもたらしたということで、私は作務衣を着て一人で30分番組を担当したのです。また東海ラジオでは、各分野で活躍する人と対談する『松平實胤の一期一会』という番組を持ったこともありました。しかし、坊さんは本来の宗教活動が勝負と思ひ、その後「法話や講演」以外、真面目に坊さんの仕事をしています。

この世は無常、怠ることなく精進

——座右の銘・これからの夢をお聞かせください。

お釈迦様の遺言なのですが、「時は移り行くものである。不放逸によりて精進せよ」、言い換えれば、「この世は無常である。怠ることなく精進せよ」ということです。

これは私が大学院時代に出会ったとても思い出深い言葉です。仏典にはお釈迦様が亡くなられた場所は場末の町と出てきます。お供の阿難がお釈迦様に「お釈迦様ほどの方がこんな場末の町で亡くなるべきではない」と提言します。しかしお釈迦様は「私の臨終の地はここをおいて他にない。誰でも、いまここを変更できないのだ」と言われるのです。仏教は縁を説くのですが、「縁」とは自分の意志と努力の到底及ばないところで決定される条件のことです。その縁で人生は左右されていくのです。逃げることのできない「今ここ」をどう生きるか、「縁」をどのように受けとめるかが仏教の最重要課題です。

このご遺言はそれ以後の私の座右となっています。

——今を生きる私たちにメッセージをお願いします。

私どもは、損か得か、苦か楽か、カッコいいか悪いかで行動を決定してしまいます。「苦」とは、自分がそうありたいと思ひながら、そうなれない状況を迎えると苦しいと感じます。自己矛盾です。

では、どうしたら思い通りになるのか。私が68歳になる今日までに「やった！」と快哉を叫んだ時間を全部合わせ

ても1時間にもなりません。それに至るまでの辛抱、我慢、こらえる、耐える、待つという時間が99.99%です。だれでも苦を避けて楽を望みますが、楽をして幸せになることはありません。得をもとめ楽をして見栄えばかり気にしていると、本物を身につけることに縁遠くなります。

苦の反対は楽ではありません。喜びです。苦しんで苦しんだ末に、時間はかかるかもしれませんが、「その苦しみを越えて今の自分になった、良かった！」と思えた時、どなたにも微笑みが浮かぶ苦です。

——健康法はいかがですか。

平成22年まで一日に2回以上本堂まで320段の階段を上り下りしていました。若い頃は5、6回は上り下りしていたから、今でも足腰は強く、「もっとゆっくり歩いて」と家内から言われるほどです。42歳のときに開腹手術を受けて以後不整脈になってしまいましたが、他は今のところ健康です。空気がいいところにいるからでしょう。

——ご趣味は？

とりたててありませんが、檀信徒の皆様と全国のお寺さんを巡拝させて戴いたことは私の財産になっています。定番の西国坂東秩父の百観音、四国八十八所をはじめ北海道から九州まで全国の観音霊場はほとんどお訪ねしました。

また私の敬愛する「ひろさちや先生」とインドを中心とする文化圏、インドをはじめスリランカ、タイ、ミャンマー、ラオス、ベトナム、カンボジア、インドネシア、パキスタン、シルクロード、中国の仏跡を訪ね歩きました。ユダヤ教キリスト教イスラム教の聖地エルサレムの巡礼は、モーセが神の声を預かった（預言）シナイ山にも登りました。多くの巡礼地へ行けたということは楽しみであったからと思います。

——今日は分かりやすく深いお話をありがとうございました。光栄に存じます。これからの松平山主のご健康とご活躍を心より願っています。



万年筆愛好家の裾野を広げたい

Vintage Pen collection PENLAND CAFE

オーナー

高木雅且氏



大須だから文化の発信ができる

本業は製麺業です。直営店をオープンさせようとしたこの1階を借りたのです。そのとき大家さんから「2階も3階も空いている」と言われ、2階を喫茶店にしようと思ったのです。ところが立地が悪い（狭くて急な階段）ので、私の趣味であった万年筆を並べた特異な店にしようと思えました。

万年筆は僕らの時代は、中学に入るとお祝いに戴いたりしたものです。しかし「(万年筆は)百年持ちますよ」と言われても、修理するところが少ないことに疑問がありました。そこで、ある程度修理技術がありましたから、修理もできてビンテージも取り扱う万年筆の店を始めたのです。

大須だから面白いんです。大須は名古屋の文化の発信ができる場所です。

「昔から使っていたけれど、書けなくなった」というお客様が毎日来られ、多いときは一日10本くらい修理します。

ビンテージを求めて日本全国から

年配の方が多いですが、ここはテイクアウトできる喫茶店ですので、中学生、高校生が来店します。万年筆を触ったこともない若者たちに、店長が万年筆の特性を教えます。興味をもってくれたお客様が、より万年筆を好きになれる店を目指します。

日本中からビンテージを見に来られます。好きな人は探すんです。ここに並んでいるものは調整・整備していますから安心です。

取材日時／平成26年11月11日(火) 11時～12時 取材場所／PENLAND CAFE
きさて／武藤俊明・森田文一・岩田加津子・清水正彌



僕らでもオツと思う万年筆に出会うことがあります。半世紀以上前の万年筆を直した結果、感動するような書き味になることもよくあります。

日本人と万年筆との関わりは非常に深いです。万年筆が発明されたのは約130年前でアメリカのウォーターマンが特許を得ています。数年後には日本で製造していて、1940年頃は世界中にある万年筆の半数は日本が製造していました。

外国はサイン文化ですから、子どもの頃から万年筆に親しんでいます。近年、日本ではボールペンという便利なものが使われ始めたこともあり、若い子が万年筆をあまり知りません。

万年筆で個性を表現

万年筆とボールペンと大きく違うのは、万年筆の文字には表情があり、自分の個性を活かせる筆記具だと思います。ですから万年筆で書かれたお手紙はなかなか捨てられません。

人それぞれに万年筆の持ち方に癖があって、百人百通りです。その人の癖に合わせて先端のイリジウムが少しずつ減っていきますから、使えば使うほど使いやすくなります。そうすると、その人に合った、その人だけのオリジナルの万年筆になるのです。

万年筆に興味をもってくれる若い人は、書く道具ではなくて、万年筆を通して自分の個性を見つけているのです。ですからこのデジタルの時代に、アナログの万年筆に惹かれるのです。

コーヒーを飲みながら ゆっくり選んで欲しい

万年筆の嗜好はそれぞれです。軽いものが好きな人、重いものと好みが変わります。自分で選んで買ってもらいたくのですが、見た目がキレイで買ったけれど使ってみたら違和感があるというケースが多いのです。

「万年筆は慌てて買うものではありません。宝石ではないのです。持って使って一番書きやすいものを選ぶことが大切です」とご説明しています。

ここは喫茶店になっていますから、自分に合ったものを、コーヒーを飲みながら選んでいただけます。

もうひとつのコンセプトは「ERペンショップ」です。ERつまり救急救命です。コーヒーを飲んでいる間に修理します。内容によって預かる場合もありますが、世界中から道具・部品を集めていますから、ほとんどのものは修理できます。

ビンテージも売っていますが、中古品ではありません。誰かが使っていたものを、僕らが次に使われる人に合わせて整備してお渡ししているのです。

人間の道具に対する探求心はすごいんです。優れた機械がない時代に、よくこんな構造で作ったなと思うものもあります。そういうモノはビンテージとして希少価値があります。非常に痛んだ状態で持ってこられて、再生させると素晴らしい万年筆になりますし、それをお客様が喜んでくださることが、我々の感動なんです。例え古くて書けなくなった万年筆でも、それを復活させて少しでも長く気持ち良く使っていただきたいと思います。



PEN-LAND CAFE 店長 荻 敏英氏

万年筆との出会い

10年ほど前ですが、手の指を骨折して筆圧がなくても書けるかと思って、昔買った万年筆で書いてとても感動したのです。

万年筆の同好会は全国にあります。私は名古屋の東海ペンクラブの会長でもあります。万年筆に関わる人にお逢いするのが好きで、いま万年筆のペン先を造る人も含めて日本に数名の調整士がおられます。ところが、せっかくの技術が継承されていません。

私は、日本中の調整士さんのところへ出向いて、その方たちの技術を学んだ後、この店を開店しました。そして1年間、店長に技術的・知識的なことを委譲して、今年初めに「修理する」と発信したのです。そうしたらすごい反響でした。いろいろなメディアで紹介され、一気に修理が増えました。何十年も使っていたけれど、調子が悪くなったからと持って来られます。お直しすると本当に喜ばれます。先日も、年配の女性が、亡くなった旦那さんが息子さんにプレゼントした万年筆が書けなくなったからと持ってこられました。根気よく直したら、おいおいと泣かれまして、こちらも貰い泣きしました。亡くなった人が蘇るような想いになられるのでしょうか。

お客様と対面接客して、喜んで貰うことが商い

ペン先の先端にイリジウムという鉱石が溶接してあり、これが万年筆の命です。

ペン先の下にあるペン芯にはインクの通る溝と空気の通る溝がありまして、毛細管現象でインクがスリットを通して先端に行きます。そこにイリジウムが付いていて、筆圧の強弱でインクの出る量が調整されるのです。いろいろなインクの吸入方法が試行錯誤で世界中で造られました。インクの供給装置を理解した上で修理していきます。

吸入の方法は20種類くらいありますが、日本の万年筆はほとんどカートリッジです。外国製は回すことによってピストンが上下してインクが吸入できます。

いまの日本は、商いの本質を教える会社が少ないと思います。昔は丁稚奉公があって、商いを覚える仕組みがありました。「お客様のほうを見て、お客様が満足できる状態にする」という原点を大事にしたいし、日本だからそれを発信しなければいけないと思っています。小さな店ですが、ここは直接お客様とコミュニケーションできる場所にしたいと思っています。お客様もご自分の万年筆への想いを一生懸命に語りたんですよ（笑）。

古い万年筆の修理を依頼されたとき、「この万年筆はかなり古いですから、素材の強度がいまのものより劣ります。分解中に壊れてしまうこともゼロではありません。それでもよろしいですか」と聞くと、「お願いします」と言われます



ので、お客様のその万年筆によせる想いを真摯に受け止めて、最善を尽くして修理しています。

弾力があり飽きのこない金ペン、インクの色も多彩

ペン先は2種類、スチールと金ペンがあります。スチールは書きやすいけれど堅くて弾力がありませんから飽きができます。金ペンは弾力があって飽きがないのです。

いまの若い人はボールペンを使い慣れていますので筆圧が高いですが、万年筆メーカーもそんな筆圧で書かれると壊されてしまうのでペン先を堅くしています。慣れてくると柔らかいペン先の万年筆もお勧めです。

インクは水性で、いろいろな色があって楽しめます。

書いたときは黒色ですが乾くとセピア色に変わる“移り喜”、澄んだ泉の色ということで“フォンテンブルー”など、色を創っています。インクの色によっても字の表情が変わります。そういう特性も万年筆にはあります。

万年筆の価格の幅は大きく千円からあります。機能は一緒ですが、ペン先の素材が違います。金ペンの14金で日本製ですと1万円から選択肢があります。海外のメーカーだと5万円くらいからです。

胴体の材質はプラスチック、セルロイドなど。スターリングシルバーの軸は重みがあります。木軸は使えば使うほど艶が出てきます。

戦前から戦後にかけて、町の文房具屋さんが万年筆を製

造・修理していて、メーカーもすごくたくさんあったのです。私たちの知らないブランドもたくさんあって、そういう人たちが日本経済の底を上げていましたが、ほとんどが消えてしまいました。亡くなった職人さんの万年筆を見ることがありますが、匠の技を垣間見ることができます。

欧米はイリジウムが横書きの形状です。一方、日本の万年筆は漢字の止め、跳ねが出るような形状になっています。欧米のものを買ったけれど漢字を書くのに不都合だと言われて調整することもしばしばあります。

ユーザーが万年筆を育てる

万年筆を育てるのはユーザーなんです。

この店を開いたのも、若い人たちにモノを大切にすることを伝えたいと願ったからです。愛着をもって使えば万年筆は一生使い続けることができる道具です。

これからも万年筆の愛好家の裾野を広げること尽力したいと思っています。

営業時間：午前11時から午後8時

定休日：毎週水曜日

新春講演会

平成27年1月21日(水) 18:00~19:00
ローズコートホテル

医学的見地から学ぶ最新エイジングケア
食べる・歩く・眠る・を変えて若くなる

講師：医療法人いつき会グループ
理事長 佐藤 正樹氏

市内9法人会合同講演会

平成27年2月4日(月) 13:30~15:00
日本特殊陶業市民会館

どうなっているの？ 近年の異常気象
集中豪雨・竜巻・大雪

講師：気象予報士 石原 良純氏



女性部会初春の健康講座

平成27年2月9日(月) 11:00~12:00
なだ万

健康寿命百歳をめざして

講師：特定非営利活動法人 LET'S食の絆
顧問 五十嵐 福代さん

栄東・栄西・名城支部合同事業

平成27年3月3日(火) 14:00~
中区役所 B1ホール

防災講演会

講師：(株)ハイドロソフト技術研究所
執行役員 兼 研究開発センター長
名城大学 特任教授 川崎 浩司氏



クラウン
とっぽさん

オメテトウ！

今年もヨロシクネ!!

経営研究会第3回研修会

平成27年2月17日(火) 18:00~19:00
名古屋クレストンホテル

浪曲一直線
これが私の生きる道

講師：女流浪曲師 春野 恵子さん



第4回通常総会・記念講演会

平成27年5月26日(火) 16:00~17:30
名古屋東急ホテル

尾張藩主 徳川宗春の
どえりゃあ派手な経済運営
吉宗の中央改革と宗春の地域活性化

江戸時代中期、元禄バブルの夢が醒め、幕府や諸藩は深刻な財政危機に直面しました。そこに登場したのが八代將軍吉宗と尾張藩主宗春です。対照的な二人の経済運営の結果はいかに。第4回城山三郎経済小説大賞を受賞した新鋭の歴史経済作家が新たな視点を加えて解説します。

講師：歴史経済作家 渋井 真帆さん



※事業内容は一部変更になる場合があります。
名古屋中法人会ホームページ「イベントカレンダー」
をお確かめのうえお出掛けください。
<http://www.meinaka-hojinkai.or.jp>

ものづくりと中部の将来

日本製造業の復権と大学の役割

日時/平成26年12月5日(金) 13:30~15:30 会場/名古屋 Marriott アソシア ホテル16F タワーズボールホール 主催/日本経済新聞名古屋支社、テレビ愛知 後援/公益社団法人名古屋中法人会 他

製造業の復権は、産学交流がカギ

パネリスト



名古屋大学総長 濱口 道成氏

青色発光LEDの発明は、基礎研究から39年間の年月が費やされ、名大の粘り強い研究環境から生まれた。

名古屋大学濱口道成総長は、青色発光ダイオード（LED）を発明した赤崎勇特別教授と天野浩教授のノーベル物理学受賞を成果に挙げ、「師匠の指導のもと、若い世代が自由な発想で研究できた。そして、豊田合成の支援が早期に得られたことが大きかった」と述べた。

パネリスト



名古屋工業大学学長 鵜飼 裕之氏

産学連携センターによる包括的な協力関係によって数多くの共同研究が誕生している。

名古屋工業大学の鵜飼裕之学長は「大学と企業が同じテーブルで議論する」重要性を指摘し、産業ニーズに基づく専攻・学科の再編など人材育成策を紹介した。

パネリスト



株式会社デンソー代表取締役社長 加藤 宣明氏

デンソーの持続的成長に向けた取り組みが、量産燃料電池車「ミライ」を誕生させた。

デンソーの加藤宣明社長は、競争力強化へ「技術開発力とものづくりを両輪で磨いた」と説明した。

次世代自動車をにらんだ環境・安全技術が求められるなか「産学の共同研究テーマも広がっている。人材交流がキーワード」と話した。



開会あいさつ 泉 宣道氏



開会に先立ち、日本経済新聞社専務執行役員名古屋支社代表の泉宣道氏は、品川から名古屋を結ぶ「リニア」の着工、来春の国産旅客機「MRJ」の試験飛行、量産燃料電池車トヨタ「ミライ」の発売、3名のノーベル物理学受賞と最近の名古屋の元気を取り上げた。

折しもこの日、青色LEDを発明した天野浩氏がスウェーデンのストックホルムに出発した。

シンポジウムでは、地元大学と企業のトップ3人が、製造業復活に向けた産学連携のあり方について活発に意見交換を行った。

シンポジウムの2日後、福岡国際マラソンがテレビ中継されていた。

先導する白パイの右側を走行する量産燃料電池車「ミライ」の姿を見て、ランナーより存在感を感じさせていたが、明日の日本の経済を力強く牽引するシーンとしても印象的であった。